

マンモグラフィで使用しているX線について知ろう！

座長集約

公益財団法人 岩手県対がん協会 高橋 遥

普段使用しているマンモグラフィのX線がどのように発生し、どのような特徴を持つのか。また、線質や測定方法はどのようなものなのか。学生の時や講習会などで何度も目にしているが、分かっている様で理解が難しい分野のひとつである。

この企画ではそんな今更聞けないマンモグラフィで使用するX線について三人の演者に詳しく解説していただいた。

『マンモグラフィ装置について知ろう』ではX線の発生や特徴（ヒール効果）など技師として身につけておきたい基本的な知識を中心に解説していただいた。

『X線スペクトルについて知ろう』では講習会の試験に出題されるような具体的な問題を挙げながら特性X線や制動X線の発生原理、フィルターの特徴などを詳しくお話していただいた。

『マンモグラフィ線質測定について知ろう』では施設での測定が困難なため、教科書の内容ではなかなか理解が難しい半価層の測定方法を写真や実際の測定値などを用い、実際に計算をしながら解説していただいた。

今回の企画により今後のマンモグラフィ業務や品質管理、そして知識の向上に大きく役立つことを期待する。